新聞定価 朝夕刊月ぎめ 本体価格3,686円(税込み 3,981円) 1部売り(税込み) 朝刊130円　(第3種郵便物認可)

駅地下へ小走り、校舎で伏せ

高岡で北陸初 ミサイル避難訓練

北朝鮮による弾道ミサイルの発射が相次ぐ中、ミサイル飛来を想定した避難訓練が十四日、富山県高岡市の高岡駅前と伏木小学校で行われた。全国で七カ所目、北陸では初めての共同訓練で、国と富山県、高岡市が主催。駅前の地下街へ避難する全国初の取り組みを市職員らが円滑に進め、小学校の教室では児童が窓から離れた場所に伏せて身を守る行動を確認した。（武田寛史）

仮想の国から弾道ミサイルが発射され、日本に飛来する恐れがあるとの想定で実施された。市街地訓練には五十人、伏木小での訓練には二百七十人が参加。ただ、伏木小の児童二百三十人を除いて一般市民の参加はほとんどなく、市職員などの行政関係者が「避難者役」となる姿が目立った。

同日午前九時三分、参加者の携帯電話に訓練用の通知が電子メールで届いた。駅や交番は緊急情報ネットワークシステムのEm－Net（エムネット）を受信した。駅構内では駅員が拡声器で案内し、警察官が誘導。駅前のバス停に着いたばかりのバスの中では乗務員が避難を呼び掛けた。乗客のうち三十五人が地下街へ、五人がステーションビルへ走った。訓練の情報が流れてから約二分間で避難が完了した。

伏木小では午前十時半に防災行政無線と校内放送が流れると、児童は教員の指示に従い、窓とカーテンを閉め、窓から離れた廊下側に集まって頭を守るように

弾道ミサイル飛来を想定した避難訓練で窓から離れ、床に伏せる児童たち＝14日午前、富山県高岡市伏木小で

して身をかがめた。グラウンドにいた児童は放送の内容をしっかりと把握し、体育館に集まった。

訓練後、避難状況を検証する会議が同市伏木コミュニティセンターであり、伊藤敬内閣参事官は「情報伝達、迅速な屋内避難、児童の避難行動はできていた。外交や防衛の努力でこういう事態にならないのが一番だが、万が一に備えて情報を得てから避難までの行動を確認してほしい」と総評した。

「どうしようもない」不安も

訓練では、参加者が地下へ駆け込んだり、体を伏せたりと身を守る行動を確認しつつも、「実際にミサイルが落ちればどうしようもないのでは」と不安も漏らした。

午前九時三分、高岡駅バス停付近にいた三十人が一斉に携帯電話の画面を注視した。「ミサイル発射」。防災行政無線が設置されていない市街地では、まずはメールで事態を知ることになる。直後に駅前交番の警察官数人が拡声器を手に「避難してください」と走りながら叫ぶと、参加者は小走りで駅の地下街へと続く階段を下りていった。

地下街へ逃げ込んだ参加者は広場のある奥へと進んだ。その間も「頑丈な建物の中や地下に避難してください」との構内アナウンスが流れる。最初のメールから五分後、「ミサイルは破壊されました」とのメールが届いて訓練は終了した。

バスガイドの竹腰玲那さん(二七)は「ただ前の人について行ったけど、実際は焦ると思う。高岡は北朝鮮に近いし、ミサイルが落ちる可能性もある」と不安を口にした。

駅から約八キロ北に位置する伏木小学校では午前十時三十三分、防災行政無線の屋外スピーカーからサイレンが鳴り響いた。教室にいた児童はすぐに窓とカーテンを閉めて机や椅子を教室の窓側に押しやり、廊下側に集まって顔を伏せて座り込んだ。爆風や破片から身を守るためだ。学校に隣接する児童館に近所から避難した人も。走ってきた呉谷義人さん(六三)は「走ってもミサイルが実際に落ちればどうしようもないと思うが…」と額に汗を浮かべながら語った。

終了後は全校児童が体育館に集合し、無事を確認した。作道麻衣教諭(三七)は「休み時間や音楽の時間などに外の放送が聞こえるのか不安はある」と指摘する。柴田正弘校長は、学校でミサイル飛来を想定した訓練をせざるを得ない情勢に「とても悲しいこと。子どもたちには国と国とのことを考え、相手を思いやる優しい心を持って育ってほしい」と話した。

石川は秋にも輪島で

石川県は、今秋にも同県輪島市で弾道ミサイル飛来を想定した住民避難訓練を予定する。詳細は国と県、市で調整している。

市民不在の訓練 意義は

「外交を考える方が先」

啓発目的「まず関心を」

一般市民の参加がほとんどなかった今回の訓練。内輪の訓練だけで十分なのか。市民や有識者からは住民参加型を求める意見のほか、「不安をあおるだけでは」と訓練自体に懐疑的な指摘もある。

富山県高岡市によると、駅前には住民がいない上に「居合わせた駅利用者に急に参加をお願いはできない」として、市職員らを避難者役にした。伏木地区でも学校の訓練を中心に考え、周辺住民には特に参加を呼び掛けてはいなかった。

駅では訓練を遠巻きに眺める人も多かった。高校二年の男子生徒は「市民に向けてどこに避難したらいいか広く伝えてほしい」。高岡法科大の男子学生も「一般市民は蚊帳の外という感じ。訓練があったなら参加したかった」と語った。

市危機管理室の山森久史室長は「市民がどれだけ関心を持っているかが分からない。訓練が報道されることで多くの人に関心を持ってもらえれば」と啓発目的だったことを隠さない。今後は「地域から訓練や出前講座などの要望があれば対応していけば良いのでは」と話した。

日本大危機管理学部の山下博之講師（防災学）は「今回は内輪の訓練でもいいが、次は住民参加型の訓練に生かすことが大切だ」と強調する。北朝鮮の弾道ミサイルは発射から十分で着弾し、警報を出せるのは着弾の四分前とされる。「時間のリミットが分かり、避難者が急ぎがちになる」。訓練中に転倒などのけがにつながりやすく、行政側が災害の訓練よりも配慮する必要性を指摘した。

一方、北陸大（金沢市）に勤務する北東アジア情勢に詳しい李鋼哲さん(五七)は「隕石に備えるようなもの」と切り捨てる。「（北朝鮮は）以前にも日本海へ何度もミサイルを落としたことがある。なぜ今そこまでやるのか」。米軍基地がある以上は狙われる可能性があるとしつつも「安倍政権は不安をあおって憲法改正につなげようとしているのでは。外交で国を守っていくすべを考えるべきだ」と批判する。

愛知、岐阜で記録的大雨

7万人に一時避難指示

梅雨前線や湿った空気の影響で愛知、岐阜両県では世帯、約七万四千人に避難指示を出した。＝社説⑤面

いだ。両県では百十九人が避難所に一時身を寄せたほた。犬山市は市内の全ての小学校で授業を中断。児童は保護者が迎えに来て帰宅するなどした。

アメダスによると、岐阜県美濃加茂市でも十四日午前、観測史上最大となる一時間に八九・五ミリの雨が降る高山線と太多線の一部区間で運転を見合わせ、特急二本が運休するなど約二千四百人に影響した。

気象庁は十四日、雨が多かった地域に大雨警報や洪水警報を発令、記録的短時間大雨情報を出して警戒を絡が取れず、捜索が続いた。福岡県によると、朝倉市で十四日に新たに女性一人の死亡を確認したほか、有明海で遺体で見つかっていた一人は朝倉市の井上輝雄さん(六七)と分かり、豪雨による死者と認定した。犠牲者は計三十二人となった。朝倉市の死者のうち、井上マサ子さん(八三)と小川千鶴子さん(七四)、矢野正子さん(九〇)の身元も判明した。

インフラ被害は十四日現在、福岡県で道路が二百十一カ所、橋の流失などが二十三カ所。特に朝倉市に集中し、道路百六十一カ所、橋十四カ所だが、未調査地区もあり、県は全容の把握を急ぐ。大分県は、道路の冠水や路肩の崩壊などが五百八十三カ所。少なくとも四カ所で橋が壊れた。

水道料160万円引き落とし

滋賀・甲良町 1000倍近く

滋賀県甲良町が一般家庭一世分の水道料金を誤請求し、上水として本来の額の千倍近くに当六十一万円を口座から引き落とことが、町関係者への取材で分既に世帯主に返金、謝罪したこの家庭の四月の上水道使来、千六百二十円の基本料金分た。だが検針員の入力ミスで、量を示す四桁の水道メーターの月より四月が少なくなり、メ回りした分の九千九百九十九ド用量と誤認し、それに基づく料した。システムの端末で高額請せる表示が出たため、職員が訪ーターをチェックするなどした に気付かなかったという。

下水道料金についても同様の生していたが、口座の残金が足落とされなかった。この「未払確認する過程で、誤請求が発覚

神奈川の山林にバッグ詰め2遺体

不明の中国籍姉妹

十三日午後十一時四十分ごろ、神奈川県秦野市寺山の県道脇の山林で、別々の旅行用バッグに詰められた二人の遺体を県警の捜査員が見つけた。県警は十四日、二人は行方不明になっていた横浜市に住む中国籍の姉妹と確認。死体遺棄事件と断定し、伊勢佐木署に捜査本部を設置した。

県警によると、姉妹は横浜市中区日ノ出町二、陳宝蘭さん(三七)と専門学校生の宝珍さん(二二)。

捜査関係者によると、二人が暮らすマンションの防犯カメラ映像などから、姉が働く飲食店の客だった三十代の男が事件疑いが浮上。男はマンションに侵入バッグを運び出認された。

男は飲食店い、姉に好意をとみられる。姉五十代男性に上が住むマンショこともあった。

県警によると九時すぎ、マン理会社から「連い。様子を見て一一〇番があっでは、知人女性員制交流サイトで連絡を取って

部屋に争っ く、現金や財布されていた。扉 ていた。

◇…十一工会議所青で、手拭いとりどりの を鳴らし